



美しい 県土づくりNEWS

目次

- 2 県営災害公営住宅の内覧会を行いました
- 4 住宅再建相談会を開催しています！
- 6 大野地区海岸災害復旧工事の「安全祈願祭」を開催！
- 8 東日本大震災からの復旧・復興に関する要望を行いました
- 9 景観学習を実施しています
- 11 みんなで防ごう土砂災害！
- 13 第15回 鉄道のある風景写真コンテスト開催のお知らせ

2014年
5月

岩手県 県土整備部
手づくり広報誌第118号
平成26年5月30日発行
編集 県土整備企画室



三陸復興

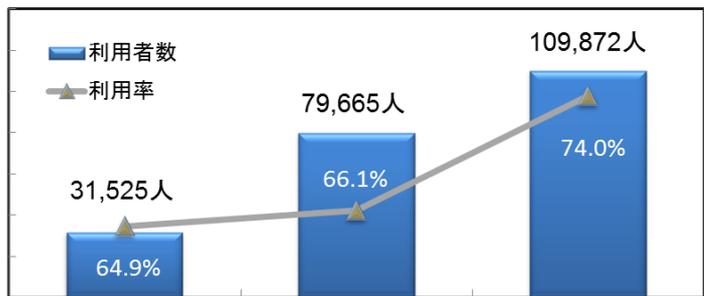
いわて花巻空港FDA名古屋線 就航3周年!!

～東日本大震災後に就航、H26上期ダイヤから1日3往復運航中～

平成26年5月21日(水)に(株)フジドリームエアラインズ(FDA)が運航する「いわて花巻⇄名古屋小牧」線が就航3周年を迎えました。これを記念して、いわて花巻空港で記念セレモニーを開催しました。セレモニーには、多くの関係者が参加し、搭乗者への記念品の贈呈等を行いました。

同路線は、東日本大震災津波により甚大な被害を受けた東北地方の復興支援の一環として、平成23年5月21日に就航しました。翌年の平成24年3月25日からは1日2往復に増便、さらに現在は1日3往復となり、日帰りのビジネス利用などでの利便性が向上しています。

県では、今後、路線の定着と更なる利用促進に向けて取り組んでいきます。



名古屋線の利用者数、利用率の推移

名古屋まで最短75分！
毎日3往復で運航中です。
ぜひ、ご利用ください。



県営災害公営住宅の内覧会を行いました

(山田町豊間根アパート)

建築住宅課

現在、県で整備中の県営災害公営住宅（山田町豊間根アパート）の内覧会を、平成26年5月24日（土）、25日（日）の両日行いました。

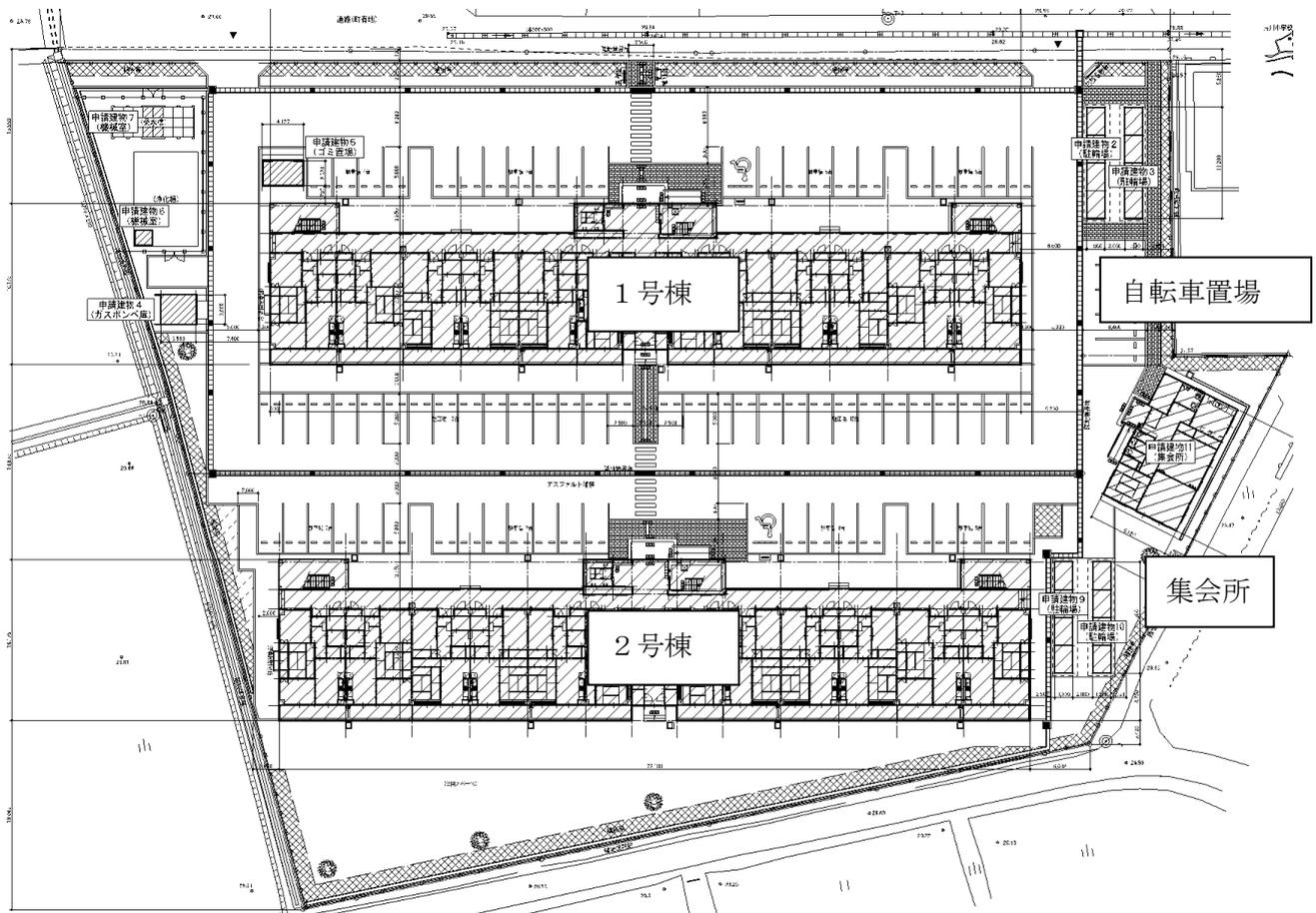
この県営災害公営住宅は、山田町では、最も早く完成する災害公営住宅であり、鉄骨造3階建てが2棟（1棟36戸）、間取りは1DK、2DK、3DKの3種類があり、7月下旬の入居開始を予定しています。

昨年12月から入居者募集を実施してきましたが、5月19日現在、整備戸数72戸に対して、25戸の空きがある状況です。今回の内覧会は、実際に住民の方へ見ていただくことによって、認識を深めていただくとともに、空室の解消を期待して行ったものです。



施設概要

- | | |
|------------|--|
| 1 敷地の位置 | : 山田町豊間根第3地割地内 |
| 2 敷地面積 | : 約 7,792 m ² |
| 3 構造・階数・高さ | : 鉄骨造・3階建・約 11.6m |
| 4 棟数・戸数・面積 | : 2棟・72戸・約 4,722 m ² |
| 5 間取り | : 1DK 12戸【(42.34 m ²)】
2DK 36戸【(54.00 m ²)】
3DK 24戸【(62.14 m ²)】 |
| 6 附属施設 | : 集会所、駐車場、自転車置場等 |
| 7 工事費 | : 約 13 億円
(建築・電気設備・機械設備の工事費合計額) |



内覧会には、2日間で延べ662人の来場者があり大盛況でした。



入居申込みをした方だけではなく、周辺の住民の方や他の災害公営住宅に入居希望する方などが見学に来ていました。災害公営住宅への入居を心待ちにしている住民の方をはじめ、期待と関心の高さを感じました。

既に入居申込みした方など部屋の間取りをじっくりと見ながら、寸法や設備について、職員の説明を受けながら確認し転居後の生活のイメージを膨らませていたようです。

来場者の方からは、「思ったより広く、きれい」など、多数の意見を頂戴しました。



山田町豊間根アパートは、まもなく完成を迎え7月下旬には入居が開始されます。

他の災害公営住宅の整備についても、被災された方々の一日も早い暮らしの再建がなされ復興が加速されるよう、全力をあげて取り組んでいきます。

住宅再建相談会を開催しています！

～ 住宅の自力再建を支援します！ ～

建築住宅課

東日本大震災津波で被災された方々の住宅の自立再建について周知を図り、自力で住宅再建を目指す方に各種支援制度等の情報提供及び相談を行うため、県では平成24年度から住宅再建相談会を開催しています。

相談会の内容

相談会は、行政及び（独）住宅金融支援機構から公的支援制度、住宅融資等について参加者の方に説明をした後に、説明者の他、岩手県地域型復興住宅推進協議会及び（一財）岩手県建築住宅センターが依頼した建築士等が住宅の再建に関する個別の相談に対応しています。

【相談対応機関】

岩手県、開催市町村、（独）住宅金融支援機構、岩手県地域型復興住宅推進協議会、（一財）岩手県建築住宅センター他



〈説明会の様子〉



〈相談会の様子〉

住宅再建をお考えの方で、

「何処に相談したらいいか良く分からないんだけど・・・？」

「いろいろ支援があるみたいだけど、誰か説明して欲しい！」

という方、住宅の専門家に個別に相談できる機会です。

事前の申し込みは不要で、参加料、相談費用も無料ですので、皆様お誘いあわせの上、お気軽にお越しください。

（平日に住宅ローンの相談を希望される場合には、事前の予約が必要です。）

予約先：住宅金融支援機構お客様コールセンター（災害専用ダイヤル）

0120-086-353（9：00～17：00）

平成26年度の開催計画

平成25年度は宮古市以南の6市町において、合計39回開催し503組780人の方から相談をいただきました。平成26年度も4月から毎月相談会を開催しており、6月から9月までの開催予定は以下の通りです。

開催市町村	開催日	時間	会場
宮古市	6月21日(土)	10:00~12:30	宮古市役所 6階大ホール
	7月13日(日)	10:00~12:30	宮古市役所 6階大ホール
		14:00~16:00	宮古市 河南仮設団地集会所
	8月24日(日)	10:00~12:30	宮古市役所 6階大ホール
	9月6日(土) 9月7日(日)	10:00~16:00	シーアリーナ(宮古市民総合体育館) (住まいの展示相談会会場)
山田町	7月12日(土)	10:00~12:30	山田町中央コミュニティセンター2階会議室
		14:00~16:00	石峠仮設住宅 集会所
	9月20日(土)	10:00~12:30	山田町中央コミュニティセンター2階会議室
		14:00~16:00	猿神農業担い手センター仮設住宅 集会所
大槌町	6月22日(日)	10:00~12:30	大槌町仮庁舎3階大会議室
		14:00~16:00	和野仮設団地 集会所
	8月23日(土)	10:00~12:30	大槌町仮庁舎3階大会議室
		14:00~16:00	※仮設団地等で開催予定
釜石市	7月25日(金)	10:00~16:00	釜石地区合同庁舎3階第1会議室
	7月26日(土)	10:00~12:30	釜石地区合同庁舎4階大会議室
		13:30~16:00	※仮設団地等で開催予定
	9月26日(金)	10:00~16:00	釜石地区合同庁舎3階第1会議室
	9月27日(土)	10:00~12:30	釜石地区合同庁舎 4階大会議室
		13:30~16:00	※仮設団地等で開催予定
大船渡市	6月6日(金)	10:00~16:00	大船渡地区合同庁舎4階第2会議室
	6月7日(土)	10:00~12:30	大船渡地区合同庁舎4階大会議室
		14:00~16:00	猪川町長洞応急仮設住宅集会所
	8月8日(金)	10:00~16:00	大船渡地区合同庁舎4階第2会議室
	8月9日(土) 8月10日(日)	10:00~16:00	リアスホール(大船渡市民文化会館) (住まいの展示相談会会場)
陸前高田市	6月8日(日)	10:00~12:30	陸前高田市役所4号棟第6会議室
		14:00~16:00	竹駒地区コミュニティセンター
	8月10日(日)	10:00~12:30	陸前高田市役所4号棟第6会議室
		14:00~16:00	※仮設団地等で開催予定
	9月28日(日)	10:00~12:30	陸前高田市役所4号棟第6会議室
		14:00~16:00	長部地区コミュニティセンター

大野地区海岸災害復旧工事の「安全祈願祭」を開催！

沿岸広域振興局土木部大船渡土木センター

平成 26 年 5 月 8 日、陸前高田市広田町の大野海岸において、災害復旧工事の本格着手を前に安全祈願祭が開催されました。

安全祈願祭は、大野地区海岸災害復旧（23 災 593 号）工事の受注業者である株式会社佐賀組（大船渡市）が主催し、工事関係者をはじめ、地権者の方々など約 20 名が出席して行われました。東日本大震災津波により犠牲になられた方々へ黙祷した後、工事の安全と早期完成を祈願しました。

安全祈願祭の後には発注者を代表し、大船渡土木センターの佐々木一彦副所長が、事業用地の提供にご理解をいただいた地権者の皆様への感謝と、当地域の早期復旧に向けて、株式会社佐賀組と一体となって取り組んでいきたい旨を挨拶しました。

位置図



陸前高田市



大野地区海岸

安全祈願祭の様子



大野地区海岸の概要

大野地区海岸の砂浜には多くの海浜植物が群生するなど自然環境に恵まれ、夏には清澄な海水浴場として県内外から多くの海水浴客に利用されていました。また、背後には、集落や県道大船渡広田陸前高田線などがありましたが、平成23年3月11日の東日本大震災津波により、これら集落は壊滅的な被害を受けました。

海岸付近の津波痕跡（岩手県調査）では、最大痕跡高 T.P.+14.6m と既設防潮堤高 (T.P.+8.5m) を大きく越える津波であったことが確認されています。

※ T.P.とは・・・東京湾平均海面からの高さ



被災前（平成22年3月14日）



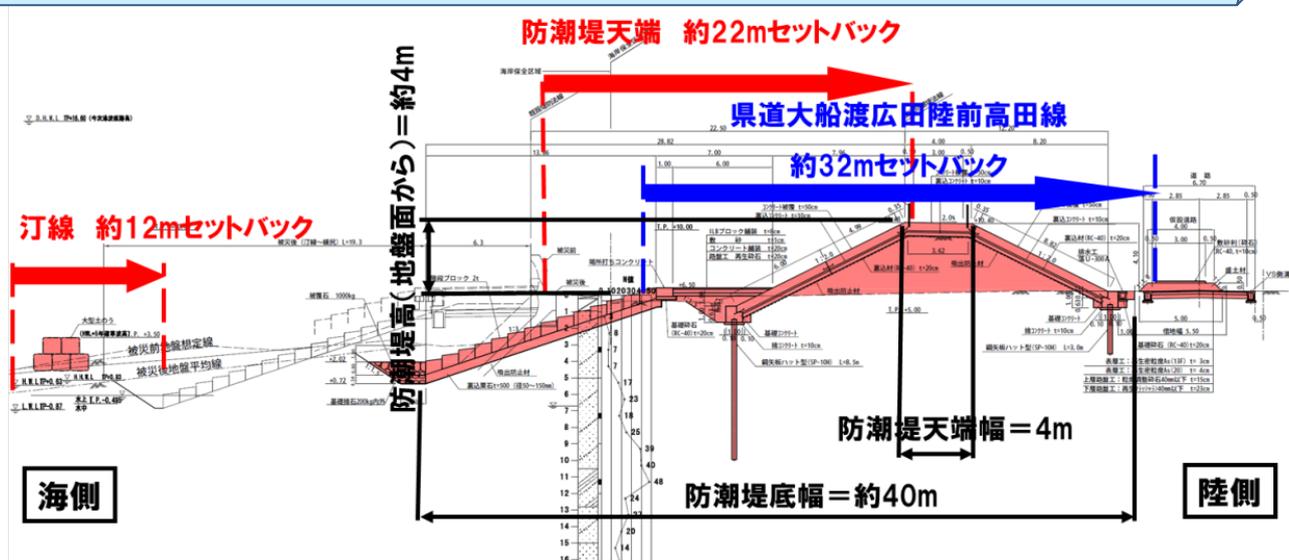
被災後（平成23年3月29日）

災害復旧工事の概要

県では、「岩手県津波防災技術専門委員会」での審議を経て、大野湾の新計画堤防高を T.P.+12.8m と設定し、平成23年10月に公表しましたが、平成24年5月から6月にかけて行われた地元協議により、大野地区海岸と六ヶ浦漁港海岸は、個別防護高である T.P.+10.4m で復旧することとしました。

また、震災による地盤沈下で狭くなった砂浜を復元するために、防潮堤を陸側に下げる（セットバックする）計画としています。

これらの災害復旧工事は、平成28年3月の完成に向けて、鋭意進めていきます。



大野地区海岸の標準横断面図

東日本大震災からの復旧・復興に関する要望を行いました

～被災地の実態に即した予算措置等について～

県土整備企画室

平成 26 年5月 15 日に、東日本大震災津波からの復旧・復興に向けて、「平成 28 年度以降（集中復興期間後）の財源確保」、「地方負担に対する全面的な財政支援の継続」、「直轄事業の推進」について、国土交通省・復興庁の幹部職員に対し、被災3県（岩手、宮城、福島）の土木部長等による合同要望を行いました。

現在、国の復興財源フレームは平成 27 年度までしか示されておらず、復興事業を計画的に実施するためにも、復興が完了するまでの間、国として十分な財源を確保することが必要となっています。

県では、被災地における復興を強力に推進するため、引き続き、国に働きかけていきます。

【主な要望内容】

1 集中復興期間後の財源確保と財政支援の継続について

- 復旧・復興事業の財源確保
- 地方負担に対する全面的な財政支援

2 被災地の復興を牽引する国が行う復旧・復興事業の整備促進と財源の確保について

- 復興に向けた広域道路ネットワークの整備促進
- 被災3県に整備する国営復興祈念施設の早期事業化
- 地域の復興を支える港湾の整備促進

東日本大震災からの復旧・復興に関する
要望書
～被災地の実態に即した予算措置等について～

平成26年5月15日

岩手県県土整備部長

佐藤



宮城県土木部長

遠藤

信哉



福島県土木部長

松本

英夫



国土交通省への要望状況

左から、佐藤県土整備部長、土井国土交通政務官、福島県土木部長、宮城県土木部長

景観学習を実施しています

都市計画課

美しいまちをつくり、育て、次の世代へと伝えていくには、子どものころから身近なまちの良好な景観に対する関心を持ってもらい、一人ひとりの景観やまちづくりに対する意識を高めることが重要です。

岩手県では、主に小中学生を対象として、身の回りの景観に目を向け、その価値を正しく認識することで、地域の景観への愛着や誇りを育むため、「景観学習」に取り組んでいます。

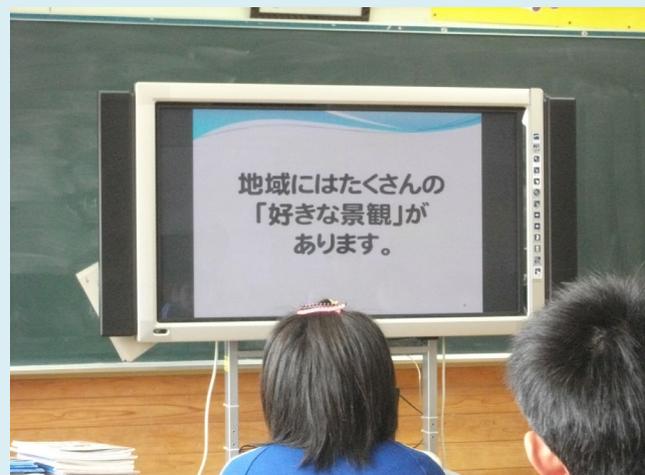
今年度は、10校で景観学習を実施する計画です。現在、6校での実施は決定していますが、残る4校は募集中ですので、興味がありましたら、都市計画課まで連絡をお願いします。

平成26年度の実施予定

	市町村	学校名	対象学年	対象人数	第1回目	時間	第2回目	時間
1	雫石町	安庭小学校	3年生	15名	5月9日	9:15~12:00	5月20日	8:25~10:00
2	雫石町	御明神小学校	3年生	12名	5月28日	9:30~12:15	6月2日	10:40~12:15
3	釜石市	平田小学校	3年生	24名	10月29日	9:30~12:10	11月5日	10:35~12:10
4	一関市	涌津小学校	3年生	15名	6月10日	9:30~12:10	6月17日	10:35~12:10
5	一関市	藤沢小学校	6年生2クラス合同	45名	5月29日	9:30~12:10	6月3日	8:40~10:15
6	盛岡市	城内小学校	3,4,6年生	10名	5月2日	9:30~12:15	5月13日	10:40~12:15

景観学習の様子

○講師によるガイダンス授業



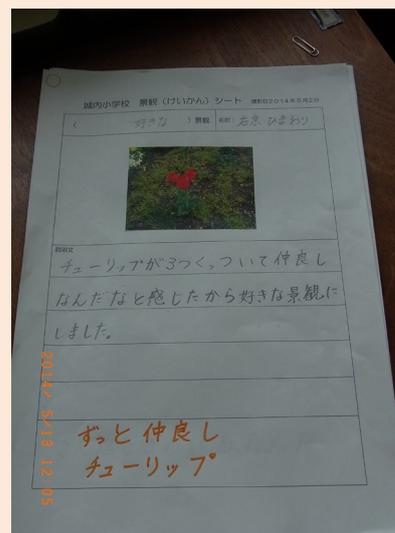
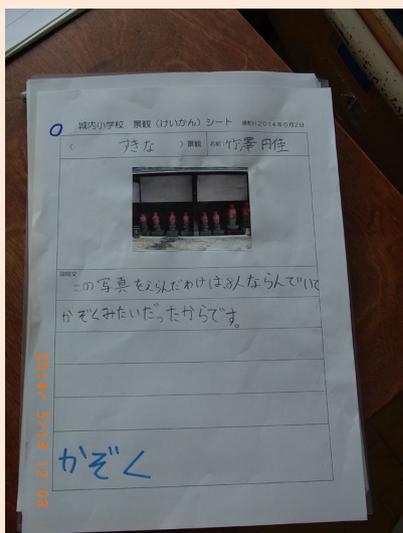
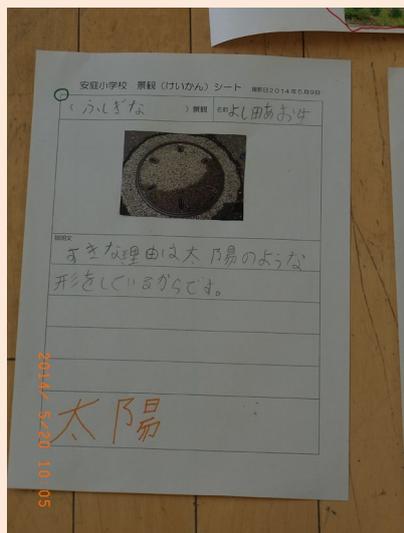
○街歩きしながら、各自で、好きな・きれいな・気になる景観をデジカメで撮り放題



○景観シートを作成し、みんなで話し合い



【子どもたちの景観シート】



○先生の声（城内小学校）

「地域のよさ」を再発見する機会となり、よかった。子どもたち自身の観点でカメラを操作し、自由に撮影してすすめたので、子どもたちがとても意欲的に取り組んでいた。いろいろなものを見つける中で「地域のよさ」を実感できた。



みんなで防ごう土砂災害!

～ 6月は土砂災害防止月間です ～

砂防災課

近年、台風、梅雨前線豪雨、地震などにより全国各地で土砂災害が多発しています。

また、地球温暖化に伴う気候変動の影響により、熱帯低気圧の強度が増大するとともに、大雨の頻度も増加する可能性が高く、土砂災害の増加、激甚化が懸念されています。

平成 25 年は、東京都大島町の伊豆大島での大規模な泥流による被害をはじめ、地震や豪雨により全国各地で 941 件の土砂災害が発生し、多くの尊い人命が失われました。

国土交通省では、土砂災害の防止と被害の軽減を目的に、昭和 58 年から毎年6月を『土砂災害防止月間』と定め土砂災害防止のために、さまざまな取り組みを実施しています。平成 26 年度は、土砂災害に関する防災意識の普及、警戒避難体制の整備等を推進するため、住民や砂防ボランティア等の市民団体と連携するなど、一人ひとりが防災意識を持ち土砂災害を防ぐために、様々な取り組みを実施することとしています。

本県でも、市町村などの関係機関・砂防ボランティア岩手県協会と連携して、土砂災害危険箇所の点検等を行います。

昨年の危険箇所点検の様子



また、平成26年6月2日から13日まで岩手県庁1階県民室において『土砂災害写真パネル展』を開催します。

県内外で発生した土砂災害や防災関係機関の取り組み等を紹介するパネルや、昨年度の土砂災害防止月間の行事の一環として小中学生から募集した「土砂災害防止に関する絵画・作文」のうち、優秀作品を展示しますので、ぜひご覧ください。

過去のパネル展の様子



土砂災害にはこんな前兆現象があります！

こんな現象を見たら…聞いたら…早めに避難しましょう。
 ケケンな場所には近づかないようにしましょう。

※ここに紹介した現象が、土砂災害発生の前兆現象の全てではなく、また、これらの現象が見られなくても土砂災害が発生する場合があります。

<p>地すべり</p> <p>湧水量の増加 湧水の枯渇 池や沼の水位の急変 井戸水の濁り 落石・小崩落</p>	<p>土石流</p> <p>地鳴り 深流水位の激減 流水の異常な濁り 土臭いにおい</p>	<p>がけ崩れ</p> <p>表面に流水が発生 小石がばらばら落下 湧水発生 湧水量の増加 湧水の濁り</p>
<p>斜面のふくらみ 地鳴り・山鳴り 樹木の傾き 亀裂・段差の発生・拡大 地面の震動</p>	<p>深流内で転石の音 流木発生 流水の急激な濁り</p>	<p>地鳴り 斜面のふくらみ 湧水の停止 湧水の噴き出し 小石が頻りに落下</p>

土砂災害対策等に関するお問い合わせ

場所： 県庁7階 砂防災課

TEL: 019-629-5922・5923 (土砂災害対策担当) FAX: 019-629-9140

E-mail: AG0006@pref.iwate.jp

第15回 鉄道のある風景写真コンテスト開催のお知らせ

～ 作品募集の案内 ～

県土整備企画室

「鉄道の日」実行委員会と独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構が、「**鉄道のある風景写真コンテスト**」の応募作品を募集しています！

本コンクールは、「鉄道の日」の制定を記念し、毎年、日本の豊かな四季と共にある鉄道の風景写真を一般の方々から募集しているものです。

平成26年度は、NHK朝の連続テレビ小説「**あまちゃん**」の舞台となった三陸鉄道が**全線で運行再開**するなど、鉄道関係のトピックスが多い年のため、応募作品の中から、**今年度のトピックスに関係する作品を対象として、特別賞を設ける予定**とのことです。

皆さん、グランプリや特別賞を目指して、作品を応募してみませんか。

応募案内

- テーマ
日本の四季折々の「鉄道のある風景」を題材とした作品
- 応募受付期間
平成26年7月1日(火)～
平成26年9月1日(月)
- 応募資格
アマチュアの方
- 表彰
グランプリ 1点、四季賞 各1点
特別賞 若干数、ジュニア賞 1点
入選 数点

※ 応募規格・応募方法等は、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構のホームページ (<http://www.jrtt.go.jp>) で確認をお願いします。

第15回 鉄道のある風景写真コンテスト

募集期間 平成26年7月1日(火)～9月1日(月)

日本の四季折々の「鉄道のある風景」写真を募集します。

季節感のある写真の多数のご応募をお待ちしています！

※アマチュアの方ならどなたでも応募できます。

主催：「鉄道の日」実行委員会、(後) 鉄道建設・運輸施設整備支援機構
後援：国土交通省(予定)

問い合わせ先：鉄道・運輸機構 鉄道助成部
写真コンテスト係 TEL 045-222-9122
ホームページ <http://www.jrtt.go.jp/>

例え、新幹線開業50周年、三陸鉄道全線運行再開をテーマにした作品

今年話題性のある作品を対象にした**特別賞**を設けました！

募集要項は鉄道・運輸機構ホームページからダウンロードしてください！

鉄道の日とは

明治5年10月14日に、日本で最初の鉄道が開通(新橋～横浜間)したことを記念して、平成6年に、10月14日を「鉄道の日」に制定。